

ガバナー月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2011-2012

6 vol.12



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

国際ロータリー 第2660地区

2011~12年度ガバナー 岡部泰鑑

6 vol.12

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

CONTENTS

ロータリー親睦活動月間	1
PETS・地区チーム研修セミナー開催報告	2
2011～2012年度 IM第2組報告	3
2011～2012年度 IM第1組報告	4
2011～2012年度 IM第8組報告	5
仙台復興支援ふれあいコンサート報告	6
RIより地区の表彰を受賞	7
タイ・バンコク国際大会に参加して	8
災害支援プロジェクト報告(第12回)	10
米山奨学委員会	12
ロータリー財団	13
文庫通信	14
2012年4月度 会員数・出席報告	15
お知らせ	16

敬弔



私の年度の最後の月がやって来ました。

さて、6月はロータリー親睦活動月間（Rotary Fellowships Month）です。ロータリーはさまざまな国や文化から同じ関心事を分かち合う会員が集まるロータリー親睦グループを通じて世界中に広められた「親睦」という概念を土台としています。このロータリー親睦活動によって、会員は生涯にわたる友情を築くだけでなく、自らの関心を保ち、活動への意欲を一層高めながらロータリーに積極的に関わっていくことができます。スポーツ、趣味、職業上の関心をはじめ、幅広い職業や趣味を網羅したロータリー親睦活動は100団体近くにのぼり、そのすべてが国際的な親睦、友好、奉仕を深める役目を果たしています。ここでは同好のロータリアンが特定の関心に対する情熱を分かち合うだけでなく、数多くの親睦グループ・メンバーが自らの趣味や技能を生かして他の人々への奉仕を行っています。例えば、カヌーを楽しむロータリアンの国際親睦グループは汚染された川の清掃を行ったり、コンピューター・ユーザーであるロータリアンの国際親睦グループは電子メディアの使い方についてロータリアンや地元の人々のために研修会を行っています。また「ジッパー・クラブ」と名乗る心臓疾患を克服したロータリアンの国際親睦グループ・メンバーは、心臓疾患を持つ恵まれない子供たちの命を救う手術を提供しています。ロータリー親睦活動は、エスペラント語に関心を持つロータリアンが集まったことをきっかけに、1928年に非公式に始まりました。1947年にはボート好きのロータリアンのグループが、自分たちの船にロータリーの旗を掲げ、自らをロータリアンの国際ヨット親睦グループと名乗り始めました。現在、最も長く継続して活動を行っているのがこのヨット親睦グループです。ロータリー親睦活動の範囲は月日を経て変化してきましたが、今日でも変わ

らぬその目的は、友好の下にロータリアンを結び付け、各々が楽しみとするレクリエーションまたは職業的活動の場を提供することです。

“ロータリー親睦活動要覧”よりさらに、大谷透パスト・ガバナーは2009～2010ガバナー月信6月号に次のように述べておられます。

「Fellowships Month」が年度末の6月に当てられた理由を考えてみました。我々はクラブで奉仕活動を行い、達成感を持って気分良く終了できた場合、会員相互の人間関係は明らかによくなります。しかし、もし奉仕作業の過程で意見の不一致から会員間に感情の綻びが生じたり、一部の会員の仕事が十分評価されずに不満が生じたならば、たとえその奉仕活動がどんなに愛に満ち、賞賛や感謝を受けたものであっても、ロータリーの評価基準からいうと成功とはいえません。ロータリーの特別な集会で、いつも「手に手つないで」を歌って終わるのも、最後に仲よく友情を大切にしようとの思いからです。

クラブ内に親友をつくるためのツールに趣味の会があります。各クラブに夫々、野球、ゴルフ、囲碁、麻雀、コーラス等の同好会があり、中には地区レベル、全国レベルで交わりを深めているものもあります。このような親睦をとりもつ会のお世話は立派な奉仕の業ですからクラブ奉仕といえます。恵まれない人々を助けるという要素が入らないために奉仕という言葉を使うのに抵抗を感じる人がいるかもしれませんが、交友の絆を強めるための労力は立派な奉仕です。同好会の交わりからその中に人格的な交友関係（親友）が育まれる事をロータリーは期待しているのです。

以上、親睦活動月間について改めて考える良い機会を与えていただきました。私の年度の締めくくりとして多くのロータリアンと親睦活動を通じて更なる友人を増やしていこうではありませんか!!

2012～2013年度のための PETS・地区チーム研修セミナー開催報告

次年度地区代表幹事
村橋 義晃 (大阪中之島RC)

2012 - 2013年度のためのPETS・地区チーム研修セミナーを3月31日に大阪国際会議場にて、地区役員、会長エレクト及び地区委員会の総勢262名のロータリアンが出席して合同研修セミナーを行い、岡部Gによる開会挨拶、点鐘、故吉川PGと故熊澤PGへの黙禱を捧げ、厳かな雰囲気のもとに開会されました。

午前中の合同研修セミナーにおいて、高島GEから、次年度RI会長・田中作次氏のテーマ「Peace Through Service～奉仕を通じて平和を」が発表され、このRIテーマに基づき、心の平和、健全な青少年の育成を重要課題として、第2660地区の活動コンセプト「育もう未来の力を～飛躍～」について、その思いを語られました。

続いて、地区のロータリー財団委員会、米山奨学委員会、国際奉仕委員会より報告がなされ、次年度の

地区財務委員長から次年度地区予算について説明があり、午前中のプログラムを終了致しました。

昼食後に開催のPETS・地区チーム研修セミナーは、各々の会場にて開会され、PETSは、大谷PGから「クラブリーダーとしての役割」と題して講演を頂き、出席された会長エレクトによるIM毎のバズセッションを行い、IM担当の各AGEよりテーマに沿って発表が行われました。

地区チーム研修セミナーでは、井上PGから「委員会の役割と責務」について講演を頂き、高島GEより「地区委員会へのお願い」を申し上げた後、委員会毎にバズセッションが行われました。

再度、合同セミナー会場に集合し、福家GNからの挨拶、高島GEの閉会挨拶をもって、2012 - 2013年度のためのPETS・地区チーム研修セミナーの全てのプログラムを終了致しました。



2011～2012年度 IM第2組報告

I.M. 実行委員会

委員長 城谷 星

テーマ：ゼロからのスタート

ホスト：茨木東RC

(会長・東野達雄 実行委員長・城谷 星)

日時：2012年4月14日 14:00～17:00

場所：ホテル阪急エキスポパーク

参加クラブ：茨木RC、茨木西RC、千里RC

千里メイプルRC、摂津RC、吹田RC

吹田江坂RC、吹田西RC、高槻RC

高槻西RC、高槻東RC、茨木東RC

登録者数：448名

出席者数：210名(来賓、RC家族含む)

2011～2012年度国際ロータリー第2660地区第2組のIMが、岡部ガバナー、近藤RI理事・PG、井上PG、大谷PG、高島GEのご臨席のもと、4月14日(土)に行われました。

当日は、ウェルカム演奏と茨木東RCのコーラスチーム「コーロ・フロイデ」の合唱で始まりました。

昨年3月11日、東日本を大震災が襲い、東北地方が未曾有の被害を受けました。私たちのRCは、東日本大震災特別対策委員会を設置し、その対応を整えたのであります。そして姉妹締結を結んでいます米国、韓国からも支援の手が差しおのべられ、現地に直接おもむきました。そこで目にした光景は、終戦後と変わらないような荒涼とした被災地でした。そして支援活動の為に東奔西走しておられるRI第2520地区ガバナー榎山直樹氏に、支援先の岩手県庁でおめにかかり、その活動に共感し、今回のIMのテーマとなりました。

私たちは、「ゼロからのスタート」をテーマとし、講演とパネル・ディスカッションを企画しました。講演は、現在第2520地区復興支援特別委員会委員長であります榎山直樹直前ガバナーをお招きし「ふるさととは負けない！～新しい日本の創造を目指して～」という演題で行って頂きました。平穏な日常生活が、突如大自然の猛威により破壊されたその時、その現場に遭遇した一人のロータリアンは、何を考えどう行動し続けたのか。ご自身の一つ一つの生々しい過酷な体験を、淡々と冷静に話されるその姿に、講師の人間としての、そしてガバナー・ロータリア

ンとしての使命感と誇りと行動力が、熱く伝わってくる講演でありました。

そして、パネル・ディスカッションでは、榎山直前ガバナーにも参加して頂き、吹田RC会長エレクト・石井博章様、千里RC会長・奥谷英夫様、摂津RC会長・樋上幸夫様、茨木東RC会長・東野達雄様の皆様と共に「東日本へのこれからの支援と取組み」についてディスカッションをして頂きました。活発で有意義な議論の中に、「相手に何がして欲しいのかときくのではなく、自分たちは何をしたらいいのか、支援に向けての提案をして頂けたら有難い」と榎山氏は述べられました。

日本が今、真剣に取り組まなければならない東日本大震災問題。震災より一年が経過し、人々の記憶も少し薄れ、対岸の火事と思われがちとなってきたこの時期に、地区からの取り組みの勧めでもありました東日本大震災のテーマは、東日本の復興だけでなくとどまらず、今、日本がしなければならないそして考えなければならない課題であり、さらには日本の復興にもつながるものだと考え、取り組んで参りました。

当日は、岡部ガバナーから激励の言葉を頂き、今年度のRIテーマである「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」の精神にも共感した、まさにタイムリーな内容であると講評頂きました。又、このIMの開催にあたりPRに訪問いたしました折、各RCの会員の皆様から励ましの言葉を頂きましたこと、何よりも終始身近でアドバイスを頂いた矢橋ガバナー補佐に、お礼を申し上げたいと思います。皆様のご協力ありがとうございました。

尚、当日お集まり頂きました皆様に、一本松基金として120,672円のご寄付を頂きました。



2011～2012年度 IM第1組報告

豊中RC 会長 北村 公一
I.M. 実行委員会 委員長 米田 真

テーマ：職場体験学習
ホスト：豊中ロータリークラブ
日時：2012年4月21日（土）13:00～17:00
場所：ホテルアイボリー
出席者数：114名

2011～2012年度RI第2660地区第1組インターシティー・ミーティングを開催するにあたりまして岡部泰鑑G及び二井清治G補佐のご指導のもと、IM第1組は地区の強調事項であります『職場体験学習』をテーマといたしました。キャリア教育の目的はこれからの社会を背負って行く、あるいは背負って行かねばならない中高生を自主的精神に満ちた心身ともに健康な国民に育て上げることにあります。そしていま何よりも望まれるのは、学校と社会が一体となってキャリア教育を実施し若者の社会観、勤労観、職業観を育む体験学習を行うことであり、その一つが中学生を対象とする職場体験学習であります。

このような北村会長の挨拶にはじまり主宰者であります岡部Gは本日実施されますインターシティー・ミーティングは、地区大会に次ぐ地区の行事です。

近隣のクラブの皆様が一堂に顔を合わせる有意義な会合です。ご参加の皆様におかれましては、是非共、この機会に名刺交換などなさいまして友好の輪を広げ、クラブ活動、そして個人個人の発展に役立てていただければと思いますとご挨拶されフォーラムの開始となり、また教育関係者、生徒、受入れ事業所の9人のパネリストから講演をいただき、そのご意見を参考に第1組8ロータリークラブのロータリアンがテーブルディスカッションを行い、生徒を派遣する学校側・実際に体験学習を行う生徒・受け入れ側となる私たちロータリアンが職場体験学習のあり方と実行支援について考えました。詳細な報告書は後日、皆様にお届けいたします。最後に二井G補佐が職場体験学習は子供たちにとって大変意義のある事業であり継続していくことが望ましいと述べられ、今後は、今一度子供たちにどのような力をつけなければいけないのか再考すると共に、制度として定着させるには如何なる方法があるのか、又、ロータリアンとしての関わり方と支援のあり方についても、更に議論を継続していくことが大切だと述べられ、このフォーラムの講評とされました。



2011～2012年度 IM第8組報告

大阪帝塚山RC 会長 西尾良一
IM実行委員長 泉 博朗

テーマ：「指導者のあり方を明治維新に学ぶ」

- 西郷南洲翁遺訓を通して

西郷隆盛公の高潔性を学ぶ -

ホストクラブ：大阪帝塚山RC

日時：2012年5月12日（土）13：00-16：30

場所：大阪科学技術センター大ホール

出席会員数：161名（会員数317名）

参加クラブ（IM第8組）：

大阪アーバンRC、大阪イブニングRC、大阪咲洲RC、大阪城南RC、大阪天王寺RC、大阪東南RC、大阪平野RC、大阪帝塚山RC

第8組IM開催にあたり、皆様方のご協力に感謝いたします。開催直前に6クラブの合同例会を移動例会として頂き、クラブの負担軽減、クラブ会員の費用負担の軽減、そして何よりも多くの会員の皆様にIMに参加をいただく事を、最重点に考えました結果、泉IM実行委員長の発案の下、このような企画になりました。

本日のテーマは、

「指導者のあり方を明治維新に学ぶ」

- 西郷南洲翁遺訓を通して

西郷隆盛公の高潔性を学ぶ -

という事で、基調講演は西郷隆盛翁の曾孫にあたる西郷隆文様でございます。演題は「西郷隆盛公の人となり」であります。現在の日本が置かれている状況は、外交では外圧にさらされ、経済活動では大手企業が苦戦を強いられ、政治の世界では互いに足の引っ張り合いで、重要法案も土俵にすら載せられず、国内の一番大事な関心事の震災復興、原発事故処理が遅々として進まず、ただ時間を無駄にしているように感じます。



パネル・ディスカッションでは、「指導者のあり方を明治維新に学ぶ」をテーマとし、パネリストは西郷隆文氏（西郷隆盛公奉賛会理事長、隆盛公曾孫）

島津義秀氏（島津義弘公奉賛会理事長、加治木島津家13代当主）

竹川修司（大阪帝塚山RC次期会長）の3名の方々進行役は 泉 博朗（IM実行委員長）で進めさせて頂きました。

江戸末期は今の日本の状況と酷似していると思われる中で、我々が如何にすべきかを島津斉彬公、西郷隆盛公の考え方、そして薩摩に伝わる「郷中教育」について研修させていただきました。

郷中教育の教え

・うそをいうな ・負けるな ・弱い者をいじめるな
島津いろは歌

いにしへの 道を聞いても唱へても わが行いに
せずば かいなし

西郷隆盛公 漢詩「感懐」

幾たびか辛酸を経て 志始めて堅し

丈夫玉碎して軛全を愧ず

一家の遺事人知るや否や

児孫の為に美田を買わず

最後になりましたが、多数の地区役員の皆様方、ご出席をいただいた会員の皆様方、あらためまして心より感謝申し上げます。

（講演ならびにパネル・ディスカッションの記録画に若干の残りがございますのでご希望の方は大阪帝塚山RC事務局までお申し込み願います。なくなりました場合はご容赦願います。）



仙台復興支援 ふれあいコンサート報告

会 長 朱 明 義 (茨木 RC)

震災後、弊クラブは緊急的な物資供給支援をはじめ、姉妹・友好クラブと手を携え、また第2660地区のご指導のもと多種の基金を運用させていただきながら、被災地に対する支援を連綿と行ってまいりました。

本年度の弊クラブの方針は、他の事業を極力控え東日本の復興支援に特化するものです。その方針の立脚した、いわば総決算と位置付ける事業が、今回の「仙台復興支援ふれあいコンサート」でした。

緊急的な支援が一段落し、支援に対する思いが風化したかの報道が取りざたされる昨今、弊クラブにとって、この時期に被災者の方々のメンタルケアのための支援事業を行うことが有意義であると確信し、実施に至りました。

事業を計画するにあたり、メインの大規模コンサートを軸に、いくつかのミニコンサートを行うプランを立てましたが、実施前の現地視察を経て、プランの変更を致しました。それは、大きなイベントに赴くことができず、仮設住宅に引きこもっておられる方々が多数いらっしゃることを知ったからです。住宅のドアをノックしてお声掛けを致し、茨木ロータリー会員が一人でも多くの方々と直に接し共にコンサートを楽しみ元気になる、そんな空間こそが、森 祐理さんのコンサートの内容にはふさわしいと考えました。

成果は、数字だけで表せるものとは思いませんが、量的には準備した会場が全ていっぱいになる盛況でした。それには、弊クラブ会員が仙台青葉・台北西北両ロータリー会員とともに、お一人お一人お声掛けをした賜です。とにかくコンサートの場においてさえ頂ければ、絶対に喜んでもらえるかと確信して、一軒一軒、沢山のドアをノックしました。

この事業の成果というものは、触れ合った被災者の方々が、これから力強く前に一歩進みだしてもらえるかに尽きると思います。

私たちは、この段階で本年度の支援活動が成功だと安穩に思うことは出来ません。

既に次年度の、新たな支援活動に着手しているところです。

この支援活動を終わられる日がいつ来るのだろうか...と改めて感じた今回の事業でしたが、いつの日か支援活動が終わる日、すなわち被災地が元気を取り戻し、被災者の方々が自分たちの手で復興を成される日を願いつつ、弊クラブは支援を続けなければならないとメンバー一同、気持ちを新たに致した次第です。

最後になりますが、仙台青葉ロータリークラブには、企画段階から多大なるご協力を頂き感謝の意に

堪えません。今後も、情報交換をしながら協力体制の下、今後の支援活動を行う所存です。

< 事業内容 >

東北少年院 3月2日(金)13:30~14:30
院生30名、教官20名、茨木RC10名、仙台青葉RC6名

荒井小学校用地仮設住宅 3月2日(金)15:30~17:00
参加者54名、茨木RC10名、仙台青葉RC6名

箱塚屋敷仮設住宅 3月3日(土)10:00~11:30
参加者52名、茨木RC12名、仙台青葉RC8名
台北西北RC2名

箱塚桜団地仮設住宅 3月3日(土)13:00~14:30
参加者38名、茨木RC14名、仙台青葉RC8名
台北西北RC2名

若林日辺グラウンド仮設住宅
3月3日(土)15:30~16:30
参加者48名、茨木RC14名、仙台青葉RC14名
台北西北RC2名

名取市内関上朝市訪問 3月4日(日)9:00~9:30
茨木RC14名、仙台青葉RC7名、台北西北RC2名

石巻十三浜相川復興祭 3月4日(日)11:45~12:30
参加者140名、茨木RC13名、仙台青葉RC5名




当年度タイで開催されました国際大会に当地区より300名を超える会員の方々のご参加をいただきました事に対しましてお礼申し上げます。そして、5月9日本会議場において当地区は表彰の対象となり、RIから全世界532地区の中より上位15地区の中に見事選ばれ表彰を受けることが出来ました。地区の表彰には、R財団への寄付に関して1つの要素、並びに会員増強に関連する4つの要素が対象とされ、全要件を満たしたことにより表彰状を贈られました。

この表彰は、第2660地区全会員のご協力があればこそ達成出来たものであります。ここに地区内全会員にご報告申し上げますと共に、ご協力に対しまして厚くお礼申し上げます。

合掌

2011-12年度 会長賞



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-12年度会長賞 表彰状

受賞ロータリー地区

DISTRICT 2660

貴地区は会員増強とロータリー財団に関して
以下の卓越した実績を残されました


- 年次プログラム基金に対し一人当たり平均100米ドル以上の寄付を達成
- 年次プログラム基金への寄付に100%のクラブが参加
- クラブの75%において少なくとも85%の会員維持率を保持
- 少なくとも1つの新クラブを結成
- 会員数25名未満のクラブを5%減少

ロータリー世界で上位15 地区

よってここに会長賞を贈り感謝の意を表します



カルヤン・バナールジー
国際ロータリー会長





タイ・バンコク 国際大会に参加して

永田 藤夫 (大阪城南 RC)

本年度の国際大会はタイのバンコクで5月2日から9日まで8日間開催されました。私達は大阪城南RCのメンバーを中心に、大阪帝塚山RC等の方々とジョイントし、総勢25名で参加をしてみました。

5月6日、早朝 午前6時から約1時間半、バンコクを中心街から東方へ約30分のインペリアル・クイーンズ・パークホテルの3階大会場において開催の『日本人朝食会』へ、私達第2660地区からは、岡部Gをはじめ小島AGを含め総勢304名が出席し、日本全国各地からご出席の多数のロータリアンの方々とお会いでき、相互の知己と友情を確認しました。井上PGの司会のもと、近藤RI理事の開会挨拶、元RI理事の千 玄室氏や多数の海外の役員の方々をはじめRI会長エレクトの田中作次氏も演壇に立たれました。

同日の6日、バンコク市内から北西のインパクト・センターの大会議場で『本会議』が開催され、世界各地から多数のロータリアンの出席をみました。当日は出席者が多数のため、3回に分けての開催で、私達は開催時間までの間、友愛の広場を見学の後、第2回

目開催(3:30PM~6:30PM)の本会議に出席をしました。本会議の冒頭に、タイ王国のチュラポン王女が来賓として出席され、タイ国挙げての歓迎のもと、カルヤン・パネルジーRI会長の開会挨拶から本会議は始まりました。

公式行事は5月9日まででしたが、今回、最終日の9日に当地区岡部GがRI会長賞を受賞され、第2660地区にとりましても名誉なことでありました。

私達は公式行事以外に、今回の国際大会に出席した姉妹クラブの『香港島東RC』と5月7日、バンコク市内から北方のデュシタニ・ホテルのレストランを借りきって、6:00PMからジョイント・ディナー・ミーティングを開催いたしました。その席に香港島東RCの姉妹クラブである『マレーシアのペナンRC』および『フィリピンのマカティ・ノースRC』のロータリアン26名が合流、合計59名の大夕食会となり、相互のバナーの交換や楽しい歓談、写真撮影などを含め、和気あいあいで大いに盛り上がり、時の経つのも忘れ延々3時間の素晴らしい国際交流の良い機会を経験し、5月9日、無事帰国しました。





災害支援プロジェクト報告(第12回)

災害支援プロジェクト

委員長 井上 暎夫(千里RC)

5月7日現在の寄付金受入状況、地区基金申請案件承認・支出済状況、現在の寄付金残高を報告いたします。

いよいよ私の任期も残り実質1ヶ月となり、次年度は岡部ガバナーに委員長を引き継ぐこととなりました。今回は特に大きな支援活動は地区内クラブからは出ておりません。寄付金の残高も240万円余り(使用先決定済み)であり、支援活動も限られます。災害支援プロジェクトの最終報告は7月に入りましてから支援活動を行われた各クラブからの報告書を一冊にまとめたものをお送り申し上げます。

(1) 各クラブよりの寄付金受入状況と各クラブ地区基金申請案件承認状況

(イ) 寄付金受入状況(2012年5月7日現在)

	地区クラブ名および友好クラブ名(国名)	寄付金額(円)	備考
1	ペニンシュラRC (中国(香港))	197,600	大阪城北RC
2	マニラRC (フィリピン)	12,060	大阪東RC
3	大東中央RC	454,200	
4	摂津RC	184,657	
5	Taipei Shihlin RC (台湾)	1,184,500	豊中南RC
6	豊中南RC	5,555,556	
7	I M第6組	500,000	
8	大阪城南RC	1,000,000	
9	豊原北區扶輪社 (台湾)	1,000,000	大阪城南RC
10	大阪そねざきRC	570,000	
11	TAICHUNG RC (台湾)	3,050,000	東大阪RC
12	守口RC	278,594	
13	八尾東RC	145,000	
	利息	111	
14	大阪ユニバーサルシティRC	200,000	
15	大阪城南RC	111,793	
16	交野RC	330,000	
17	大阪城南RC	12,074	
18	2360地区 (スウェーデン)	61,254	青少年交換関連
19	大阪城南RC	3,296	
20	くずはRC	560,000	
21	大阪梅田RC	340,000	
22	ローターアクトクラブ	116,751	
23	茨木東RC	100,000	
24	豊中RC	219,900	
25	地区大会募金箱への寄付	69,472	
26	地区大会「仏像ひとノミひと削り」お賽銭寄付	189,394	
27	大阪城南RC	20,000	
28	大阪咲洲RC	24,064	
29	大阪帝塚山RC	600,000	
30	大阪城南RC	5,534	
31	大阪西南RC	160,000	
32	大阪城南RC	8,310	
	利息	2,738	
33	大阪東南RC	500,000	
34	大阪城南RC	15,423	
35	大阪城東RC	30,979	
36	ロータリー研究会実行委員会	36,025	ロータリー研究会寄付
37	地区内37RC	6,255,704	トラック寄贈案件
38	大阪城南RC	31,600	
39	新大阪RC	300,000	漁民センター支援案件
	合計	24,436,589	

(口) 地区基金申請案件承認状況(2012年5月7日現在)

	クラブ名	プロジェクト内容	総額(円)	うち地区拠出基金(円)
1	くずはRC	自転車・懐中電灯寄贈	779,500	579,500
2	大阪西RC	修学旅行交通費支援	1,082,610	700,000
3	大阪東南RC	ボランティア活動	981,400	700,000
4	東大阪東RC	殺虫剤寄贈	972,216	486,108
5	大阪城南RC	家具備品寄贈	1,567,650	700,000
6	門真RC	教育用備品什器寄贈	239,120	39,120
7	大阪中之島RC	学校用家具備品寄贈	424,725	224,725
8	委員会主導1	学校用家具備品寄贈	976,340	976,340
9	大阪天王寺RC	学童保育施設のエアコン設置	2,057,899	700,000
10	委員会主導2	教育資料寄贈	665,228	665,228
11	大阪御堂筋RC	ロータークラブ奉仕活動の交通費補助	457,500	230,700
12	大阪帝塚山RC	消防団へ軽消防自動車寄贈	5,058,600	700,000
13	東大阪西RC	小中学校に石油ストーブ寄贈	2,271,560	851,560
14	大阪RC	小学校にガイガーカウンター寄贈	498,750	298,750
15	吹田RC	幼稚園にランドセル寄贈	2,886,000	1,406,000
16	委員会主導3	鮭増殖プロジェクト支援	6,671,967	900,000
17	高槻RC	仮設住宅に浄水器寄贈	2,940,000	358,000
18	守口イブニングRC	病院・幼稚園に浄水器寄贈	2,250,000	2,000,000
19	東大阪RC	支援物資寄贈	616,550	416,550
20	大阪城南RC	学校用家具備品寄贈	526,323	260,000
21	大阪南RC	コミュニティセンター設置	10,606,000	2,000,000
22	八尾RC	災害救護車両寄贈	3,776,335	1,303,605
23	豊中千里RC	巡回車両寄贈	1,452,874	1,000,000
24	大阪東南RC	中古小型漁船寄贈	2,500,000	2,000,000
25	交野RC	餅つきセット寄贈	894,390	250,000
26	大阪フレンドRC	心のケアプロジェクト	2,450,000	500,000
27	大阪帝塚山RC	軽消防自動車寄贈	5,175,450	606,548
28	高槻東RC	須賀川地区へ浄水器寄贈	2,250,000	2,000,000
29	大阪鶴見RC	大船渡プレハブ横丁への支援	7,340,000	450,000
30	大阪そねざきRC	医療用具寄贈	1,966,600	966,600
31	大阪イブニングRC	冷蔵設備寄贈	1,884,120	1,684,120
32	大阪うつぼRC	情報誌に協賛	500,000	250,000
33	茨木西RC	寝具寄贈	3,000,000	1,200,000
34	摂津RC	学校用備品寄贈	2,119,908	500,000
35	大阪東淀ちゃやまちRC	発電機寄贈	945,000	695,000
36	茨木RC	ふれあいコンサート支援	753,500	553,500
37	高槻RC	浄水器寄贈	5,974,500	1,300,000
38	大東中央RC	図書・備品寄贈	1,511,441	800,000
39	大阪リバーサイドRC	布団乾燥機寄贈	2,820,000	1,310,000
40	委員会主導4	ユニック付トラック寄贈	7,500,000	1,244,296
41	千里RC	フォークリフト寄贈	2,081,950	1,530,950
42	大阪柏原RC	ソーラー街灯寄贈	2,100,000	700,000
		合計	103,526,006	36,037,200

(2) 現在の地区寄付金残高(5月7日現在)

直前ガバナー会から地区への返金		72,845,511円
地区内36クラブへ返金		37,224,413円
地区内46クラブから預けられた額(-)		35,621,098円
地区内クラブからの寄付金	39件	24,436,589円
地区内災害支援プロジェクト支援の拠出金	42件	36,037,200円
2520地区 支援金		10,000,000円
2530地区 支援金		5,000,000円
送金手数料		34,200円
地区大会募金箱(北上西RCへ送金)		69,472円
地区大会「仏像ひとノミひと削り」お賽銭(RI第2520地区へ送金)		189,394円
大船渡市漁業協同組合ユニック付大型中古トラック寄贈案件支援金(37RC分)		6,255,704円
地区寄付金残高(+)-(+ + + + +)		2,471,717円

米山奨学委員会

地区米山奨学委員会より

2012年3月末	全国寄付金合計額	1,087,298,219円 (前年度比1.41%減)
"	第2660地区寄付金合計額	64,908,386円 (前年度比2.23%増)
2012年3月末	全国寄付合計トップ10	
	1. 第2650地区	78,354,975円
	2. 第2660地区	64,908,386円
	3. 第2750地区	61,188,050円
	4. 第2590地区	58,230,500円
	5. 第2760地区	56,913,501円
	6. 第2770地区	50,172,000円
	7. 第2580地区	50,010,267円
	8. 第2820地区	38,570,020円
	9. 第2710地区	38,013,508円
	10. 第2780地区	37,745,250円

米山功労者

次の方たちに米山功労者の称号が贈られました。

(2012年3月)

氏名	回数	クラブ名
三好 千代子	2回目	茨木RC
中津 敏子	1回目	大阪-淀川RC
福井 宏有	3回目	大阪-淀川RC
長谷川 孝	2回目	大阪南RC
赤松 昭次	1回目	大阪東南RC
木田 吉男	1回目	大阪東南RC
草野 孝文	1回目	大阪東南RC
和田 光博	1回目	大阪東南RC
吉森 正浩	1回目	大阪東南RC
松井 研次	2回目	大阪東南RC
山崎 正博	2回目	大阪東南RC
山路 昌彦	3回目	大阪東南RC
大塚 忠重	4回目	大阪東南RC
橋本 友三	4回目	大阪東南RC
網本 浩幸	4回目	大阪東南RC
福本 保治	1回目	大阪城南RC
尾崎 敬則	2回目	大阪城南RC
杉原 茂	4回目	大阪城南RC
片山 勝彦	5回目	大阪城南RC
田邊 雅史	1回目	大阪天王寺RC
羽賀 順一	1回目	大阪天王寺RC
鈴木 勲	1回目	大阪天王寺RC

氏名	回数	クラブ名
河野 利紘	2回目	大阪天王寺RC
南部 高志	3回目	大阪天王寺RC
坂本 好男	4回目	大阪天王寺RC

米山功労クラブ

次のクラブに米山功労クラブの称号が贈られました。

(2012年3月)

クラブ名	回数
大阪東南RC	27回目
大阪城南RC	38回目
大阪天王寺RC	50回目
大阪南RC	81回目

ロータリー財団

ポール・ハリス・フェロー

次の方たちにポール・ハリス・フェローの称号が贈られました。(2012)

大矢 克巳	大東 RC	3月
田川 和見	大東 RC	3月
橋本 正幸	大東 RC	3月
神寶 敏夫	大阪梅田 RC	3月
谷村 満智子	大阪平野 RC	3月
榎本 桂子	寝屋川 RC	3月
出橋 恒仁	寝屋川 RC	3月
辻本 容治	寝屋川 RC	3月
田邊 司郎	寝屋川 RC	3月
岡田 光司	寝屋川 RC	3月
永井 一弘	寝屋川 RC	3月
松下 繁生	寝屋川 RC	3月
前田 浩輝	寝屋川 RC	3月
串田 ゆか	寝屋川 RC	3月
峯 真貴子	大阪そねざき RC	3月
片淵 正一	大阪天王寺 RC	3月
岡本 雄介	大阪大手前 RC	3月
久保 友志郎	大阪大手前 RC	3月
木村 節三	大阪大手前 RC	3月
高良 尚志	大阪天満橋 RC	3月
西浦 司	大阪天満橋 RC	3月
清水 大吾	吹田西 RC	3月
長屋 興	吹田西 RC	3月
紙谷 幸弘	吹田西 RC	3月
伊藤 泰充	吹田西 RC	3月
仲田 裕行	高槻 RC	3月

ベネファクター

次の方たちにベネファクターの称号が贈られました。(2012)

大西 寛治	大東 RC	3月
水崎 勝	寝屋川 RC	3月
大和田 雅江	大東中央 RC	3月
在本 茂	大阪天満橋 RC	3月

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

次の方たちはマルチプル・ポール・ハリス・フェローです。(2012)

樋口 秀和	3回目	大東 RC	3月
角井 吉彦	3回目	大東 RC	3月
大橋 秀典	2回目	東大阪東 RC	3月
佐治 信隆	1回目	守口 RC	3月
内海 閑一郎	2回目	大阪梅田 RC	3月
吉崎 広江	1回目	東大阪東 RC	3月
森本 光	1回目	箕面中央 RC	3月
野村 正勝	3回目	箕面中央 RC	3月
浦川 光雄	3回目	箕面中央 RC	3月
尾崎 敬則	1回目	大阪城南 RC	3月
川西 津音夫	1回目	大東中央 RC	3月
畑山 勇	1回目	寝屋川 RC	3月
高浪 宣昭	2回目	大阪そねざき RC	3月
片本 邦	2回目	大阪そねざき RC	3月
上田 稚子	1回目	大阪そねざき RC	3月
吉岡 宏之	1回目	大阪天王寺 RC	3月
吉田 章男	1回目	大阪天王寺 RC	3月
若宮 邦弘	1回目	大阪天王寺 RC	3月
津留 正孝	1回目	大阪天王寺 RC	3月
高森 隆	1回目	大阪天王寺 RC	3月
高見 篤志郎	1回目	大阪天王寺 RC	3月
杉本 源衛	1回目	大阪天王寺 RC	3月
新屋 正富	1回目	大阪天王寺 RC	3月
西埜 毅	1回目	大阪天王寺 RC	3月
松井 隆雄	1回目	大阪天王寺 RC	3月
家田 成夫	2回目	大阪天王寺 RC	3月
平尾 一平	1回目	大阪天王寺 RC	3月
花田 力	2回目	大阪天王寺 RC	3月
古池 幹郎	1回目	大阪天王寺 RC	3月
浮舟 邦彦	4回目	大阪鶴見 RC	3月
発 剛士	6回目	大阪鶴見 RC	3月
中村 健輔	2回目	大阪天満橋 RC	3月
松宮 清隆	2回目	大阪天満橋 RC	3月
木村 忠夫	1回目	大阪天満橋 RC	3月
金田 五郎	1回目	大阪天満橋 RC	3月
林 邦彦	1回目	大阪西 RC	3月
鈴木 基弘	3回目	吹田西 RC	3月
松尾 浩	2回目	高槻 RC	3月

文 庫 通 信 (296号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

日本の先輩ロータリアンのロータリー観

「さわやかインタビュー 人間米山梅吉を大いに語る(その1~3)」

湯浅恭三・杉谷武雄 米山記念奨学会 1986 [22p]

「大夢翁 土屋元作伝 第一章・第二章」 日出RC編 1996 24p

「『奉仕の理想の意味』 ポール・ハリス 『角砂糖クラブとこんぺい糖クラブ』 斉木亀治郎
『常識の意味』 米山梅吉」 辻 忠夫編 D.268 1991 3p (ロータリー百話)

「ロータリー・ニュースとガバナー昔話」 直木太一郎 神戸RC 1975 79p

「ロータリー・ニュース 1981年~83年」 直木太一郎 神戸RC 1983 99p

「前原ガバナー講話集」 D.355 - - 87p

[上記申込先：ロータリー文庫]

「ロータリアン福島喜三次傳(日本ロータリーの曙)」 蒲原権 編 有田RC 1986 102p

[申込先：有田RC FAX (0955) 43-3140]

「ロータリーの本」 森 光繁 今治RC 1978 126p

[申込先：今治RC FAX (0898) 22-3952]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館 = 午前10時 ~ 午後5時

休館 = 土・日・祝祭日

< お知らせ >

東大阪西RC事務所移転

移転日：2012年4月27日（金）

新住所：〒543-0001 大阪市天王寺区上本町6-8-21 オルグ上町502

TEL 06-6775-5111 / FAX 06-6775-5112

電話、FAX、E-mailアドレスの変更はありません。

茨木東RC事務所移転

移転日：2012年5月28日（月）

新住所：〒567-0881 大阪府茨木市上中条一丁目9番20号

茨木商工会議所 3階

TEL 072-627-5753 / FAX 072-623-9902

E-mail: ierotary@beach.ocn.ne.jp

電話、FAX、E-mailアドレスの変更はありません。

敬 弔 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

古川信義 会員

(大阪城東RC)

2012年4月17日逝去(享年80歳)

幹事、会計、ロータリー財団委員長、出席・親睦活動委員長

米山功労者

ポール・ハリス・フェロー

杉本全司 会員

(吹田江坂RC)

2012年4月22日逝去(享年79歳)

会長、理事、米山奨学委員長、国際奉仕委員長、ロータリー財団委員長
奉仕活動委員長、地区規定情報委員、地区クラブ奉仕委員

米山功労者(マルチプル)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

尾崎弘昌 会員

(東大阪中央RC)

2012年4月28日逝去(享年89歳)

会長、ロータリー情報委員会委員長、クラブ奉仕委員会委員長

米山功労者(マルチプル)

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

小林則夫 会員

(大阪西北RC)

2012年5月13日逝去(享年73歳)

幹事、会員選考委員長、SAA、親睦活動委員長、出席委員長、
職業奉仕委員長、米山奨学会委員長、クラブ奉仕委員長

米山功労者(マルチプル)

ポール・ハリス・フェロー

月信編集委員会からのおねがい

ガバナー事務所への月信に関するご連絡は、FAXまたはE-Mailにてお願い致します。折り返し、できるだけ早くご連絡致します。

投稿は原稿(写真付きの場合は一緒に添えて)を掲載月の前々月20日までに、事務所に必着でお送り下さい。原稿はなるべくパソコンでの作成をお願い致します。掲載の採否、字数の整理、並びに止むを得ない掲載月の変更等につきましては、月信編集委員会にご一任下さい。

物故会員のご連絡は、専用の用紙にてFAXをお願い致します。

今年度の月信につきましては、各クラブ理事・役員・事務局・備品用に、各クラブの会員数に応じて部数を設定し、無料配布致します。また、ご希望の会員には有料(年間2,200円・1冊200円)配布とさせていただきますので、出来るだけ多くの方のお申し込みをお待ちしています。

月信編集委員会

- | | | |
|----------|----|----|
| ・ガバナー | 岡部 | 泰鑑 |
| ・地区代表幹事 | 境 | 高彦 |
| ・地区副代表幹事 | 渡邊 | 邦雄 |
| ・担当地区幹事 | 畑田 | 豊 |
| ・担当地区幹事 | 尾崎 | 敬則 |
| ・事務局長 | 今井 | 貢二 |

2011～2012年度 国際ロータリー第2660地区 【ガバナー事務所ご案内】

事務局スタッフ

ガバナー	岡部	泰鑑
地区代表幹事	境	高彦
地区副代表幹事	渡邊	邦雄
事務局長	今井	貢二
事務局員	栗正	久美
	春名	志保
	納多	寿恵子

休日

土曜、日曜、祝日

夏期

2012年8月11日(土)～16日(木)

年末年始

2012年12月29日(土)～
2013年1月6日(日)

所在地・電話・ファックス

〒541-0052
大阪市中央区安土町1-5-11
トヤマビル東館6階
TEL:06-6264-2660
FAX:06-6264-2661

ガバナー事務所に会議室を併設しております。

最多 36名

詳細はガバナー事務所までお問い合わせ下さい。

ホームページアドレス

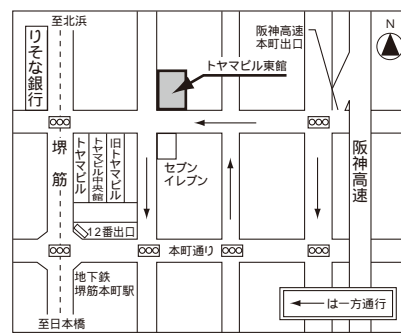
<http://www.ri2660.gr.jp/>

メールアドレス

gov@ri2660.gr.jp

勤務時間

9:30～17:00



地下鉄堺筋線 堺筋本町駅 12番出口すぐ

国際ロータリー第2660地区

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-5-11 トヤマビル東館6F
電話 06-6264-2660 Fax 06-6264-2661 E-mail:gov@ri2660.gr.jp

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2660

6F Toyama Bldg. East 1-5-11 Azuchi-machi Chuo-ku OSAKA 541-0052 JAPAN
Phone. +81-6-6264-2660 Fax. +81-6-6264-2661 E-mail:gov@ri2660.gr.jp